事業所自己評価シート

令和５年度

職員による自己評価

Ａ環境面
やや使いにくい面はあるがレイアウトの工夫次第でより安全にサービスが提供出来ると思う。
Ｂ児童への支援内容
プログラムに安心して取り組めるよう工夫を行っている。他施設から来ている職員には物足りなく感じている。

Ｃ関係機関との連携
地域連携に対して消極的な声もあるが、必要としている方のニーズを拾い出来ることから始めたい。学校、相談支援など関係機関との連携は取れている。

Ｄ保護者への説明責任・信頼関係
小さな事でも丁寧にお伝えしてきめ細かい対応を行っている。
Ｅ非常対応
災害時の対応について年間計画の元職員研修を実施している。

保護者による評価

Ａ環境面
利用人数によっては狭いと感じている。

Ｂ児童への支援内容。
支援内容の満足度は高い評価を得ている。

Ｃ事業所からの情報発信
ニーズが薄い模様。

Ｄ非常対応
特に不満などは無かった。

事業所内での分析

【共通点】
地域連携や情報発信が薄い。
支援内容に工夫がなされている。

【相違点】
良い意味で相違だがプログラムについて満足度が高かった。これに甘んじることなく良い所をベースにして更なる充実した支援を目指す。

研修の実施や情報発信が薄く、伝わっていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・個々に寄り添い丁寧な対応を行っている。
・楽しみに通所している方が多い。

事業所の改善点

・地域連携や保護者会など、地域性やニーズに合った方向を見定めて実施しなければならない。

事業所の改善への取り組み

施設の情報や研修の取組を発信し、開かれた施設になるべき。情報発信を強化する。
ニーズを汲み取り、必要な支援を必要な方へ提供できるように努める。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

施設に満足している、楽しみにしている等の声を多数いただき、支援する者として何よりも励みになります。今後もお子様と保護者様に寄り添いながら、限りある時間を大切にし、お子さまの将来を見据えた最適な支援を提供できるよう職員一同追及して参ります。

事業所名　希望ヶ丘もえぎ

担当者　　川合　美樹